

平成25年度決算の概要

◎一般会計

※（ ）内は主要施策報告書のページ

1. 決算の状況 (P3, P4)

歳入決算額	18,542,381千円
歳出決算額	17,577,690千円
歳入歳出差引額	964,691千円
翌年度へ繰り越すべき財源	25,843千円
実質収支額	938,848千円

○歳入

市税は全体としては、3.7%の増となりました。交付税については、普通交付税が1.4%減、特別交付税が2.9%減となり、全体としては1.7%の減となりました。市債については臨時財政対策債が6.1%の増、市債全体としては19.0%の増となりました。歳入全体としては、前年度比2.4%の増となりました。

○歳出

庁舎南別館と市体育館について、25年度に耐震補強工事を実施しました。また庁舎西北別館の耐震補強設計を実施しており、26年度に工事を行う予定です。25年度は三小規模改造事業を実施しました。また、全国瞬時警報システム自動起動装置の設置、下町・西福童16号線等の道路新設改良事業等を行いました。歳出全体としては、前年度比1.3%増となりました。

2. 市債と基金の状況 (P6)

(単位：千円)

	H21	H22	H23	H24	H25
地方債現在高	20,032,690	19,775,472	19,230,602	18,743,652	18,540,667
うち臨時財政対策債	4,982,484	5,894,116	6,623,996	7,322,650	8,037,044
基金現在高	2,471,612	3,327,415	3,766,384	4,354,384	4,709,206
うち財政調整基金	2,161,901	2,811,901	3,211,901	3,611,901	3,711,901

地方債現在高については、前年度末より約2億円の減。

基金については財政調整基金に1億円、庁舎建設基金に1億円、土地開発基金に1億円の積み立てを行いました。

3. 主要指標の状況 (P8, P9)

	H21	H22	H23	H24	H25
経常収支比率	93.0%	90.0%	91.5%	94.2%	92.5%
実質公債費比率	16.3%	14.9%	13.9%	13.5%	13.0%
将来負担比率	118.0%	102.9%	92.7%	81.4%	76.4%

財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度より1.7ポイント改善され92.5%となりましたが、市税収入の増がその主な要因です。

財政健全化判断比率については、いずれの比率とも早期健全化基準内となっています。実質公債費比率については、昨年度より0.5ポイント改善され13.0%となり、将来負担比率については、5.0ポイント改善され76.4%となりました。

(実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、黒字のため算定されていません)

◎特別会計

(単位：千円)

区 分	歳 入 (A)	歳 出 (B)	差 引 (A)-(B)	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支
				継続費 通次 繰越額	繰 越 明許費 繰越額	事 故 繰 越 繰越額	計	
国民健康保険事業特別会計	5,895,008	6,686,763	△ 791,755					△ 791,755
後期高齢者医療特別会計	792,081	771,210	20,871					20,871
介護保険事業特別会計 (保険事業勘定)	3,334,325	3,317,133	17,192					17,192
介護保険事業特別会計 (介護サービス事業勘定)	39,096	26,632	12,464					12,464
下水道事業特別会計	2,202,048	2,193,413	8,635		8,011		8,011	624
住宅新築資金等貸付事業 特別会計	9,375	32	9,343					9,343
工業団地整備事業特別会計	22,899	22,899	0					0